

2016年参院選・論戦ニュース

日本共産党国会議員団中国ブロック事務所

2016年6月21日 No.7

事実をねじ曲げ共産党攻撃

おおさか維新・松井代表

6月18日、広島市内で大阪維新の党松井一郎代表が行った演説を紹介します。参加者は20人程度でした。かつて「橋下」が来た時は1000人を超える聴衆でしたが、18日にはその勢いは全くありませんでした。

事実を歪曲し、自民と共産を同列に攻撃

松井氏は、「政治家のお金の使い方を変えていく」として「身を切る改革」を主張するだけで、公約に挙げている明文改憲やTPP推進など、国民の批判の強い問題については一言もふれませんでした。

松井氏は、国会議員に毎月100万円支給されている文書通信交通滞在費に領収証が必要ないことを挙げて、「こんな経費の使い方をしているから、いつまで経っても税金の不足が止まらないわけです」と主張。「自民党から共産党まで…誰一人、この経費に触れた人はいなかった」「触れられたくないところに僕らはメスを入れていきます…だから、自民党から共産党まで大反対してきました」などと、自民党と共産党を同列にして攻撃しました。

しかし共産党は文章交通費について、使途の公開や削減を主張しています。松井氏の発言は、この事実をねじ曲げたデマ攻撃にほかなりません。

政党助成金には言及できず

松井氏は議員定数や議員報酬の削減など「身を切る改革」を進めると言いながら、国民の税金が原資である政党助成金や、それを同党が受け取り続けていることについては口をつぐんだままでした。同党は2016年の第1回分として、4月末に1億2100万円を助成金として受け取っています。

(6月20日「赤旗」二面下の記事を参照)

以上